

公益社団法人南城市シルバー人材センター
令和2年度事業報告

I. 概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により経済活動や我々の日常生活に多大な影響を及ぼした。当センターにおいても沖縄県の緊急事態宣言により、就業の中止や延期等により対前年度実績を大きく下回ることとなった。国内においては新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことにより収束への期待感が高まったとはいえ、まだまだ時間を要することが考えられる。

このような中で、当センターは、第3次中長期事業計画の最終年度に当たり、目標達成へ向けて、会員・役職員が一体となって事業推進に取り組んできたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により受注契約は大きく落ち込むこととなった。また高年齢者雇用安定法による定年の引上げ、継続雇用制度の導入等により新規会員の拡大が困難になったことに加え、会員の高齢等による退会で会員数は4名の減となった。

独自事業においては、ヘナ、インディゴ栽培事業において出荷時の台風や低温による影響等で出荷状況が芳しくなく、新年度において出荷先との日程調整、圃場管理等課題を残すこととなった。

社会参加活動として取り組んだボランティア活動は尚巴志ハーフマラソンの中止等により212人の減ではあったが、シルバー事業の普及啓発に大きく繋がった。

令和2年度の事業状況の概要は次のとおり。

項目	2年度	元年度	増減
会員数	305人	309人	△4人
契約金額	92,258,702円	110,009,851円	△17,751,149円
就業率	53.8%	57.6%	△3.8%
就業延人員	15,817人日	17,816人日	△1,999人日
配分金	67,283,018円	76,666,968円	△9,383,950円
ボランティア数	218人日	430人日	△212人日
派遣事業延人日	1,294人日	1,397人日	△103人日

人口 44,925人 60歳以上 14,466人 (32.2%) 令和2年12月末日

II. 事業実施報告

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭、民間事業者、官公庁等から有償で引き受け、高齢者の能力、希望に応じて請負又は委任により、除草や屋内外の清掃、大作業、福祉・家事援助サービス、農作業、デマンドバスオペレーター業務、ごみ回収等の就業を提供した。

＜実績＞ 就業延人日 14,656 人日 ・受注件数 434 件

② 独自事業

高齢者の就業機会を拡げるため、高齢者独自の創意と工夫によるグリーンエコリサイクル事業と並行して染料の原料（ヘナ栽培）を行った。

＜実績＞ 就業延人日 1,161 人日

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対し、有料の職業紹介事業を行った。

＜実績＞ 件数 0 件

② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で一般労働者派遣事業を行った。

＜実績＞ 件数 11 件 ・就業延人日 1,294 人日 ・契約額 6,650 千円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会の開催

① 技能講習会の実施

就業上必要な知識、技能を就業意欲のある高齢者に付与することにより、実際の就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行い、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与した。

＜講習会の開催＞

・清掃講習 1 回 12 名 ・チェーンソー取扱い講習 1 回 25 名
・刈払機取扱い講習 1 回 25 名

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業の信頼と理解が得られるよう、市民、事業所、官公庁に対し、

事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知すると共に、高齢者自身に対する意識啓発を行った。

＜具体的取り組み＞

- ア 多様な知識・資格・能力を持つ高齢者への事業参加の呼びかけ
名刺カードを作成し、会員一人ひとりが地域の高齢者に配布し、事業への参加を呼びかけた。
- イ シルバー広報紙「くがに」を3回発行
5月、10月、1月にシルバー広報紙「くがに」を3回発行し、シルバー事業の意義や理念を周知するとともに、会員の声や就業状況、ボランティア活動等を紹介し、高齢者の意識啓発につなげた。
- ウ 普及啓発促進月間（10月）の推進
「シルバーの日」における全会員ボランティア活動の推進。
南城市役所に隣接する公共駐車場の清掃ボランティア活動を行い、シルバー事業の普及啓発につなげた。
・ボランティア参加数 57名
- エ マスメディアへの活動情報の提供
ボランティア活動等の状況を情報提供し、新聞、市広報に掲載された。
- オ ホームページを利用した情報提供
ホームページを利用し、シルバー事業の内容や活動情報を提供した。
- カ その他、必要な事項（チラシ、パンフレットの配布等）
市民、事業所、官公庁等に対し、チラシ、パンフレット等を配布し、シルバー事業の理念を周知した。

② 安全・適正就業の推進

センターから提供した仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、高齢者の安全意識の高揚と啓発活動を行った。

- ア 安全・適正就業推進委員会の開催。（未実施）
- イ 安全・適正就業推進員の配置と安全パトロールの実施
・安全・適正就業推進委員会による巡回指導。（12回）
- ウ 安全・適正就業強化月間（7月）の設置と大会の開催
・安全・適正就業推進大会 1回開催
（1月4日 66人参加）
- エ 「適正な運営のための受注基準」に基づく受注の徹底
就業の受注においては、受注基準を順守し、適正な運営に努めた。
- オ その他、必要な事項（安全・適正就業に関する朝礼での情報提供等）
県連合から提供された、県内全センターの事故発生情報を朝礼で報告し、再発防止に努めた。

③ 調査研究

時代の要請に対応した事業展開を図るため、高齢者の就業に対する意識と就業実態に関する調査やシルバー事業への評価等の調査を行った。

ア シルバー事業に対する一般高齢者や会員の意識調査の実施

新規入会者を対象にシルバー事業に対する意識調査を行った。

・新規入会者 22人

イ 一般家庭、民間事業者、官公庁等の意識調査の実施

発注者を対象にシルバー事業に対する意識調査を実施した。

・発注者 10件

④ 就業分野の開拓・拡大等

高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、職業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を行った。

ア 会員・職員の事業所等への開拓訪問の実施

・訪問件数 15件

イ 就業機会開拓員の配置と就業開拓の推進

・新規開拓 154件

ウ 会員の知識・資格等を活用した独自事業や新たな就業分野の検討

汚泥発酵堆肥づくり(15k・5k)や、白髪染めのヘナ、インディゴ栽培により会員の就業拡大に繋がった。

⑤ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者に対し、入会説明会を実施し、高齢者からの相談、または、地域における働く高齢者のワンストップサービスセンターとして、相談、情報提供を行った。

ア 市内在住高齢者に対して入会説明会の開催

・年間 11回開催 30人参加 22人入会

イ 高齢者への相談対応

入会説明会に併せて相談対応を行った。 30人参加

ウ 南城市生涯現役促進協議会と連携した事業説明会の開催

南城市雇用促進協議会との連携で南城市役所において、事業説明会を開催し、情報提供を行った。

① 10月度 4人 ② 2月度 13人 <合計17人参加>

⑥ 社会参加活動の推進

ボランティアによる社会参加を希望する高齢者に対し、市民、事業所、官公庁と連携してボランティア活動を推進した。

・地域と連携したボランティア活動

海岸清掃ボランティア。 61人

・その他ボランティア活動 157人

合計 延 218人参加

(5) 運営体制

① 理事会活動の強化

センター運営体制の充実強化を図るため、次のとおり取り組んだ。

会議の開催

・ 定時総会 (5月29日) ・ 理事会 10回 ・ 三役会議 12回

② 会員組織の強化

・ 地域班長会議 2回 ・ 職群班会議 1回 ・ 女性班会議 1回

③ 事務局体制

・ 職員会議 6回

④ その他必要な会議の開催

・ 連合主催事務局長会議及び職員研修

⑤ 関係行政機関及び各種団体との連携

南城市いきがい推進との事業調整会議 3回

南城市企画課との事業調整会議 1回

南城市観光商工課との事業調整会議 2回

沖縄県南部農林土木事務所とのボランティア会議 2回